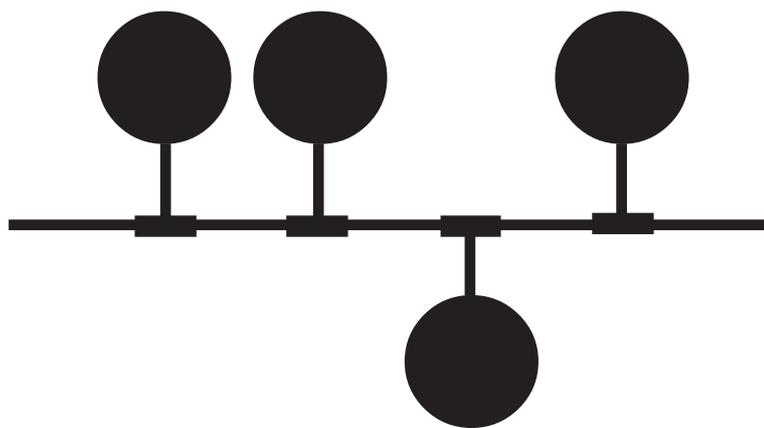


PC-9800シリーズ用
ネットワークインターフェイスボード

REX-9880/81/82

ユーザーズマニュアル



1996年6月

第6.1版

RATOC
ラトックシステム株式会社

このたびはREX-9880/81/82ネットワークインターフェースカードをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この製品はPC-98デスクトップシリーズでネットワーク環境を実現できるように設計されたC-BUS専用のLANインターフェースカードです。各種ネットワークシステム (NetWare, LanManager, Windows95, WindowsNT等)用に対応したドライバが付属しており、あらゆる環境で使用することができます。今後も各ドライバのバージョンアップなど、より一層のサポートを充実していきますので未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-9880/81/82の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-9880/81/82を正しくお使い頂くため、ご使用の前に必ず本書をよくお読みください。

また、添付ディスクに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった情報がありますので合わせてご覧ください。最新の動作検証機種、ドライバについては弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

ご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。

運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承願います。

本製品および本製品付属のマニュアルに記載されている名称・会社名および製品名は、各社の商品または登録商標です。

インターフェースカード取り扱い上の注意

インターフェースカードの改造等は絶対に行わないでください。

インターフェースカードを落とす、傷つける、上に重いもの載せる等を行わないでください。

インターフェースカードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。

ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。

モーターなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。

煙がでたり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。またパソコン本体からインターフェースカードも抜いてください。必ず販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

インターフェースカードが濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。また、必ず販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

本製品を使用しない場合、次のような場所での保管は避けてください。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具の近く

温度差の激しい場所、チリやほこり、湿気の多い場所

振動や衝撃の加わる場所

スピーカ等の磁気を帯びたものの近く

はじめに

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問等がございましたら、下記まで電話、手紙またはFAXでお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社
PCMCIAユーザサポート担当
〒556 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL 06-633-6766(サポートセンター)
土日祝を除く月～金の10:00～17:00

FAX 06-633-3553
FAXでの受け付けは24時間行っております。

また、NIFTY Serveの以下のフォーラムでも受け付けております。

NIFTY Serve PC Vendor STATION E (SPCVE)
電子会議室8番「ユーザサポート」

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」必要事項を記入の上、予めFAXした後にお電話ください。

また、ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。

ご質問の内容によってテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合がありますのでご了承ください。

第1章 REX-9880/81/82について

1-1. 概要

REX-9880/81/82は日本電気(株)製PC-9800シリーズの本体拡張バスに装着するように設計された、ネットワーク・インターフェイス・カードです。

本カードは、LAN(ローカル・エリア・ネットワーク)で標準となってIEEE802.3(draft10)準拠の通信ポートを装備しており、以下の種類があります。

REX-9880 10BASE5および10BASE-Tインターフェイス回路の両方を実装しています。

REX-9881 10BASE5および10BASE2インターフェイス回路の両方を実装しています。

REX-9882 10BASE5のみの実装ですが、消費電流200mA以上のトランシーバを使用する場合のためにカード上に大容量のDC/DCコンバータを搭載することにより、外部電源なしで使用できます。

本カードの特徴としてパソコン本体CPUとのインターフェイスをI/O制御方式で行なうため、EMSやSCSIインターフェイスカードなどが使用する共有メモリと競合がありません。これにより複雑なCONFIG.SYSの設定等が一切不要です。

1-2. 対応機種

NEC PC-9800シリーズ VM以降の機種

EPSON PC-386/PC-486/PC-586 (デスクトップタイプ)

1-3. 付属品

本製品にはネットワーク・インターフェイス・カード以外に以下のものが付属します。

ドライバソフトウェア	3.5インチフロッピーディスク	×1
	5インチフロッピーディスク	×1
マニュアル類		×4
ご愛用者登録カード(はがき)/保証書		×1

REX-9881のみ上記以外に以下のものが含まれます。

T型コネクタ		×1
--------	--	----

ご愛用者登録カードは保証書を切り離した後、必要事項を記入の上必ずご返送ください。
ご返送頂けない場合、バージョンアップなどのサポートサービスは受けられませんのでご注意ください。

第1章 REX-9880/81/82について

1-4. 仕様

REX-9880

入出力ポート	10BASE5(AUI)×1	10BASE-T×1
入出力コネクタ	D-Sub15Pinメス型コネクタ スライドロック付 (インピーダンス78)	RJ-45モジュージャック コネクタ (インピーダンス100)
消費電圧・消費電流	MAX +12V・0.2A MAX +5V・1.0A(10BASE5使用時のみ)	

REX-9881

入出力ポート	10BASE5(AUI)×1	10BASE2×1
入出力コネクタ	D-Sub15Pinメス型コネクタ スライドロック付 (インピーダンス78)	BNCメス型コネクタ (インピーダンス50)
消費電圧・消費電流	MAX +12V・0.2A MAX +5V・1.0A(10BASE5使用時のみ)	

REX-9882

入出力ポート	10BASE5(AUI)×1	
入出力コネクタ	D-Sub15Pinメス型コネクタ スライドロック付 (インピーダンス78)	
消費電圧・消費電流	MAX +12V・0.2A MAX +5V・1.0A	
その他	大容量DC/DCコンバータZS-6搭載 5Vin 12Vout 500mA	

REX-9880/81/82共通

本体CPUとのインターフェイス	16 bit I/O制御方式
バッファ容量	64Kバイト(カード上)
I/Oアドレス	64D0Hと65D0H/66D0Hと67D0H/6CD0Hと6DD0H/ 6ED0Hと6FD0Hより選択
割り込み	INT0(IRQ3)/INT1(IRQ5)/INT2(IRQ6)/INT5(IRQ12)より選択
グローバルアドレス (MACアドレス)	ボード上EPROMに記憶 アドレスを印刷したシールがカード上に貼られています。

1-5. I/Oアドレス、割り込み番号の設定について

(1).I/Oアドレスの設定

本製品は、I/Oアドレスをカード上のショートプラグ(PS1)によって設定します。

下の4種類の値が用意されており、その1つを選択します。

- 1 : 64D0h ~ 64DFhと65D0hを占有 3 : 6CD0h ~ 6CDFhと6DD0hを占有
- 2 : 66D0h ~ 66DFhと67D0hを占有 4 : 6ED0h ~ 6EDFhと6FD0hを占有

(2).I/Oアドレスの競合

パソコン本体がEPSON PC-386Mの場合

EPSON PC-386M内蔵のスキャナーインターフェイスはI/OベースアドレスxxD0hを使用するため本製品とI/Oアドレスが競合します。本製品を使用するには、内蔵のスキャナーインターフェイスを無効に設定してください。(パソコン本体付属のマニュアルに従って設定してください。)

EPSONハンディーイメージスキャナGT-100Vを使用している場合

GT-100V付属の専用インターフェイスカードはI/OベースアドレスxxD0hを使用するため本製品とI/Oアドレスが競合します。本製品を使用するには、GT-100V付属の専用インターフェイスカードを取り外してください。

(3).割り込み番号の設定

本製品は、割り込み番号を設定するためのショートプラグ等はありません。

割り込み番号は次の4種類が用意されており、その1つをソフトウェアで選択して使用できます。
INT0(IRQ3) / INT1(IRQ5) / INT2(IRQ6) / INT5(IRQ12)

1-6. LANドライバに指定する割り込み番号について

PC-98では一般的に拡張インターフェイスが使用する割り込み信号は、拡張バス割り込み信号名の「INT0 ~ INT6」で指定します。ところがNetWareやLANマネージャでは割り込みコントローラの割り込み信号名「IRQ0 ~ IRQF」で指定します。したがって本製品で提供される各LANドライバも「IRQ番号」の値で指定するように統一されています。

各ドライバに指定する割り込み番号は必ず下表のIRQ番号で記述してください。

PC98拡張バス 割り込み信号名	割り込み番号 (IRQ)
INT0	3
INT1	5
INT2	6
INT5	12

たとえば、NetWareの「NET.CFG」ファイルでドライバオプションに割り込み番号「INT1(IRQ5)」を指定する場合は、次のように記述します。

```
Link driver REX9880
INT 5
```


1-9. 付属のソフトウェアについて

本製品に付属のフロッピーディスクには次のソフトウェアが含まれます。

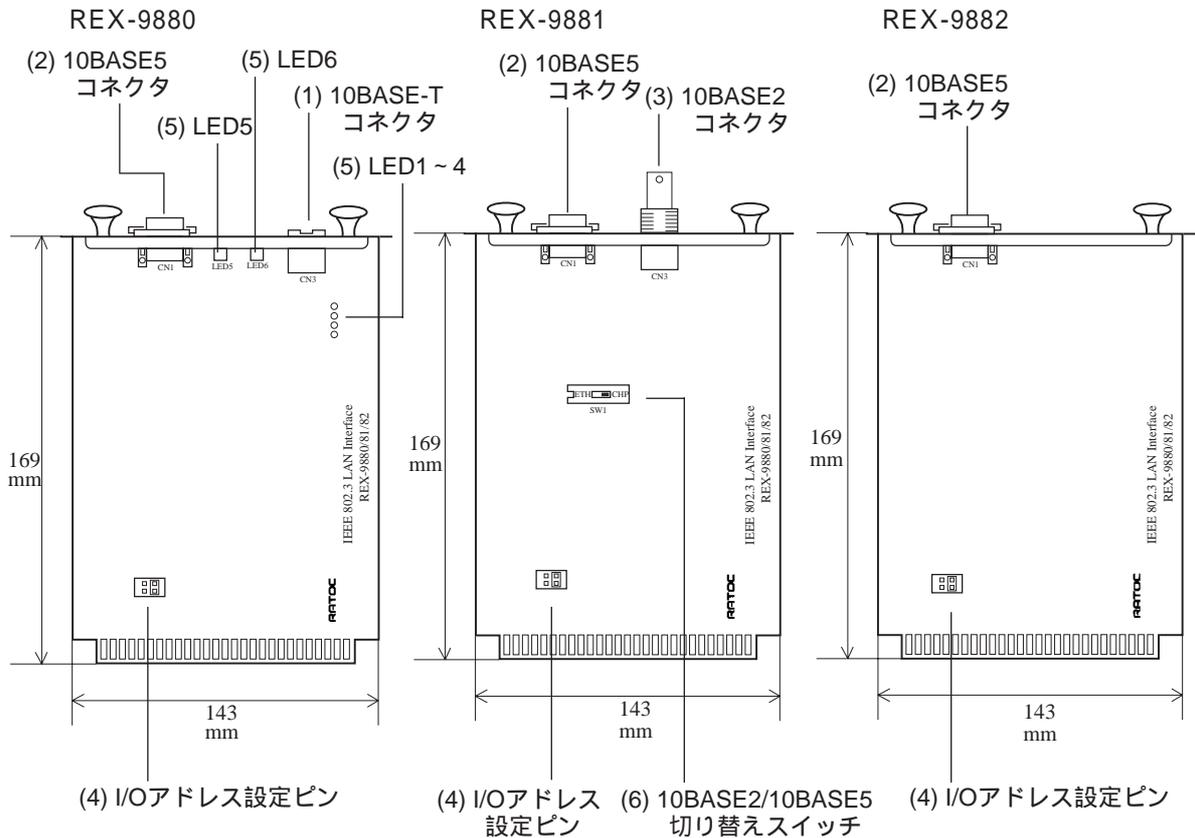
NetWare3.11J/NetWare3.12J/NetWare4.1J/NetWare Lite-J/Personal Netware用DOSODIドライバ	REX9880.COM
NetWare3.11J/NetWare3.12J/NetWare4.1Jサーバ用386ODIドライバ	SVR9880.LAN
Windows95用NDISドライバ	REX9880.VXD
日本語LANマネージャ v2.1x DOSクライアント用NDISドライバ	ND9880.DOS
Lantastic6.0用NDISドライバ	ND9880LT.DOS
WindowsNT3.5x用NDISドライバ	REX9880.SYS
パケットドライバ	PD9880.DOS
自己診断ユーティリティプログラム	NICUT.EXE

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内のREADMEファイルをテキストエディタ等を使用して確認してください。

ドライバソフトウェアについては各ネットワークOS用インストールマニュアルに従ってご使用ください。

READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新の情報がありますので必ずご覧ください。

1-10. 各部の名称とはたらき

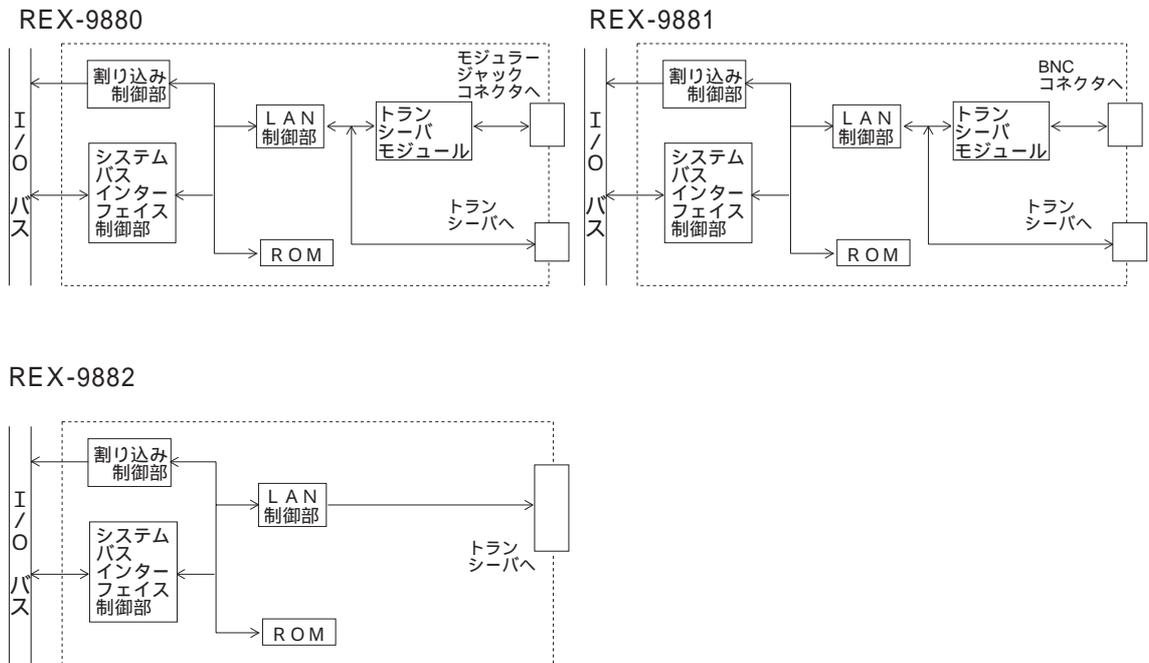


- | | |
|--|--|
| <p>(1) 10BASE-Tコネクタ</p> <p>(2) 10BASE5コネクタ</p> <p>(3) 10BASE2コネクタ</p> <p>(4) I/Oアドレス設定ピン</p> <p>(5) LED1～6 (REX-9880のみ)</p> <p>LED1 JABBERインジケータ</p> <p>LED2 COLLISIONインジケータ</p> <p>LED3 TRANSMITインジケータ</p> <p>LED4 RECEIVEインジケータ</p> <p>LED5 LINKインジケータ</p> <p>LED6 POLARITYインジケータ</p> <p>(6) 10BASE2/10BASE5切り替えスイッチ(REX-9881のみ)</p> | <p>ネットワークケーブル(10BASE-T規格)を接続します。</p> <p>ネットワークケーブル(10BASE5規格)を接続します。</p> <p>ネットワークケーブル(10BASE2規格)を接続します。</p> <p>本製品が使用するI/Oアドレスを設定します。</p> <p>JABBER機能が働いている時に点燈します。</p> <p>ネットワーク上でCOLLISION(データ衝突)を検出した時に点燈します。</p> <p>ネットワーク上にデータが出力される時に点灯します。</p> <p>ネットワークからデータを入力された時に点灯します。</p> <p>ツイストペアリンクが正常に接続され、通信可能時に点燈します。</p> <p>受信した信号の極性が逆の時点灯します。</p> <p>ネットワークケーブルを接続するコネクタを設定します。</p> |
|--|--|

JABBER機能

ネットワーク上に大量データを送出する場合、一時的にデータ出力を抑制して特定局の集中使用によるネットワーク障害を回避するための機能

1-11. ブロック図



ブロック図説明

LAN制御部

LANコントローラ(MB86960)

割り込み制御部

LANコントローラからの割り込みをパソコン本体に通知するための制御を行ないます。

システムバスインターフェイス制御部

パソコン本体とLANコントローラ間のデータ転送を、高速かつ効率よく行ないます。

ROM

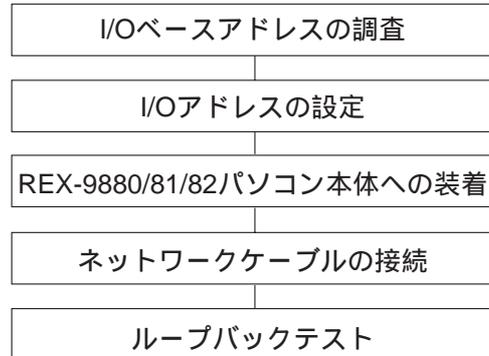
グローバルアドレス(MACアドレス)を記憶しています。

トランシーバモジュール

IEEE802.3(draft10) 10BASE-TまたはIEEE802.3(draft10) 10BASE2の電気信号に変換します。

第2章 REX-9880/81/82のインストール

REX-9880/81/82のインストールは以下の手順で行ないます。



2-1. I/Oベースアドレスの調査

REX-9880/81/82をパソコン本体に装着する前に、I/Oベースアドレスの競合について調べます。

- (1). REX-9880/81/82付属のフロッピーに含まれる「NICUT.EXE」プログラムを起動します。

```
A:¥>B: <Enter>
B:¥>CD ¥UTIL <Enter>
B:¥UTIL>NICUT <Enter>
```

カレントドライブをフロッピードライブに移動
カレントディレクトリを「UTIL」に移動
「NICUT.EXE」を起動

- (2).メインメニューの「ハードウェア状況の確認」を選択します。そして「未使用I/Oポートアドレス確認」を選択すると下の画面が表示されます。

```
REXLAN Series Network Interface Card Utility(NICUT.EXE)      Version x.xx
未使用のI/Oポートアドレス確認
未使用のI/Oポートアドレスについて調べます。

ネットワーク・インターフェイス・カードを装着するパソコン本体機種      PC-9801
装着予定のネットワーク・インターフェイス・カード                        REX-9880/81/82

ネットワーク・インターフェイス・カードを選択してください

REX-9880/81/82
REX-9883
REX-9886/87/88
```

カーソルキーを押して「REX-9880/81/82」を選択してリターンキーを押します。

- (3).REX-9880/81/82を選択するとI/Oベースアドレスのリストが表示されます。

I/Oアドレスの調査を開始するために「実行」を選択します。

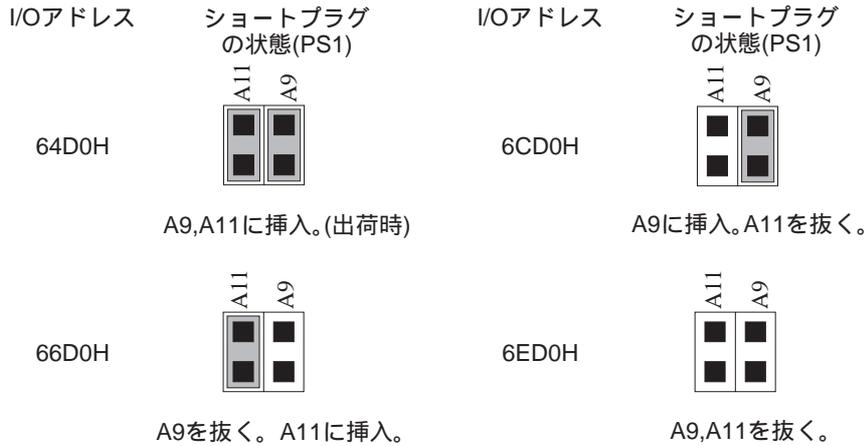
使用状況のフィールドが「使用済」の場合はREX-9880/81/82を装着することはできません。
「使用済」が表示されていないI/Oアドレス値を書き留めておいてください。

2-2. I/Oアドレスの設定

(1).I/Oアドレスの設定

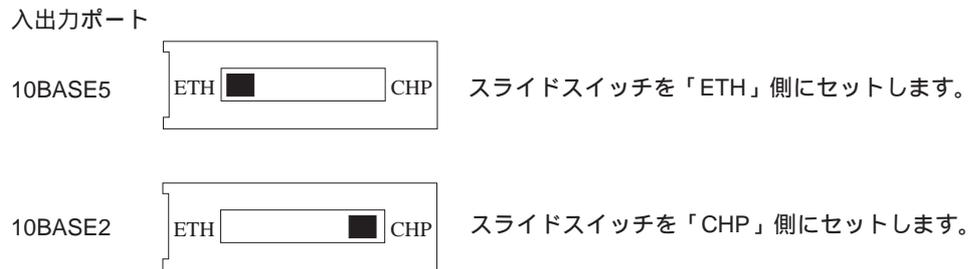
I/Oアドレスの調査で「使用済」になっていないアドレス値を設定します。

カード上のPS1を下図の該当するアドレス値に従って設定します。



(2).10BASE2/10BASE5切り替えスイッチの設定(REX-9881のみ)

カード上のSW1を下図の該当する入出力ポートに従って設定します。



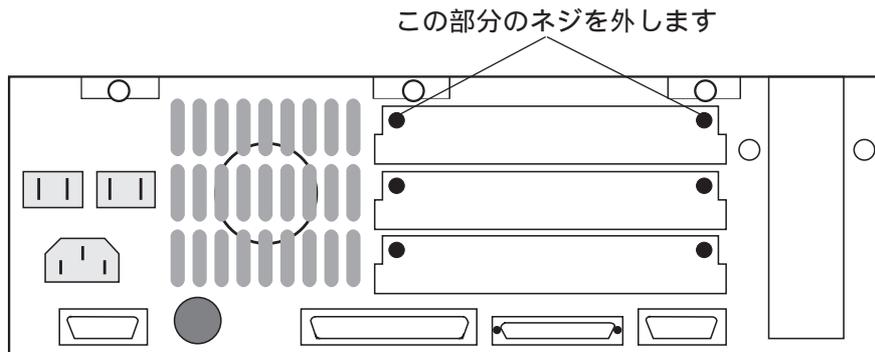
REX-9880/REX-9882の場合、入出力ポートを設定するスイッチ等はありません。

2-3. パソコン本体への取り付け

REX-9880/81/82を拡張スロットに装着する前に、必ずパソコン本体の電源をオフにしてください。電源が入ったままで作業すると、本体およびネットワーク・インターフェイス・カードの故障の原因となるので絶対に行わないでください。

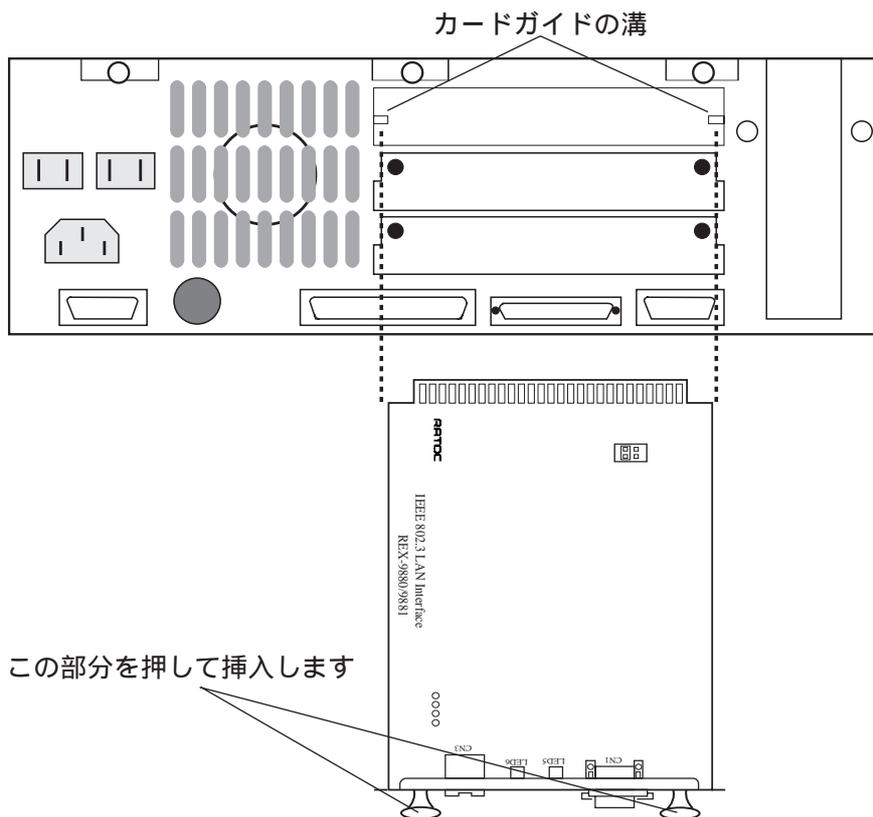
(1). 拡張スロットカバーの取り外し

以下に示す2箇所のネジを外し、拡張スロットカバーを取り外します。



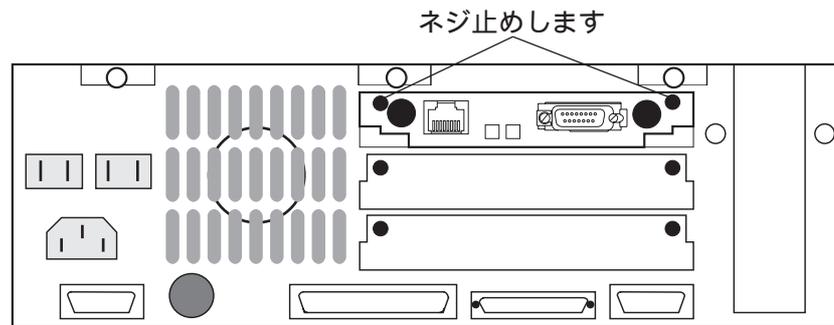
(2). 拡張スロットへの挿入

SW1の設定を確認した後、部品実装面を上にし拡張スロット内にあるカードガイドの溝(左右についている)に沿って挿入します。カードがほとんど入った時点で奥のコネクタに当たりますので、そこからさらに力を加え最後まで強く押し込んでください。(この時点でカードが完全に拡張スロット内に挿入されるはずですが。)



(3).カードの固定

拡張スロットカバーを止めてあったネジを使い、カードを完全にネジ止めします。



(4).起動(ブート)の確認

パソコン本体の電源を入れて正常に起動することを確認します。

パソコンが正常に起動しない場合は、すみやかに電源を落として次のことを確認してください。

ネットワーク・インターフェイス・カードが拡張バスコネクタの奥までしっかりと挿入されているか

ネットワーク・インターフェイス・カードとI/Oアドレスが競合するカード等が装着されていないか

2-4. ケーブルの接続

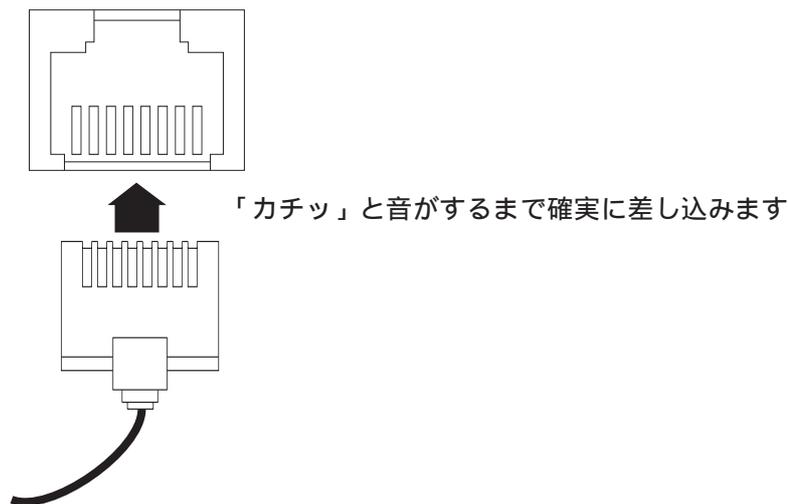
2-4-1. REX-9880への接続

(1).10BASE-Tコネクタへの接続と固定

HUBに接続されている10BASE-Tケーブルにモジュラープラグ部をネットワーク・インターフェイス・カードの10BASE-Tコネクタに接続します。

そのまま、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

最後まで差し込まれるとそのままケーブルは固定されます。

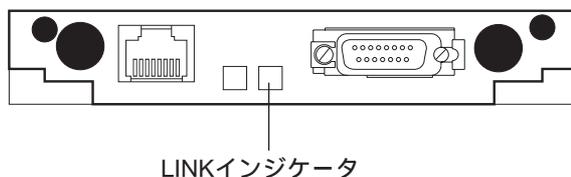


注意

最後まで確実に差し込まないとケーブルが抜ける可能性がありますのでご注意ください。

(2).LINKインジケータの確認

カード背面パネル右側のLED5 LINKインジケータが点燈していることを確認します。



リピータまたはHUBからの信号がネットワーク・インターフェイス・カードに正しく入力されていない場合は、LEDが点燈しませんので次のことを確認してみてください。

10BASE-Tケーブル両端がネットワーク・インターフェイス・カードおよびリピータまたはHUBの10BASE-Tコネクタに正しく挿入されているか

10BASE-Tケーブルの結線が規格に合ったものか

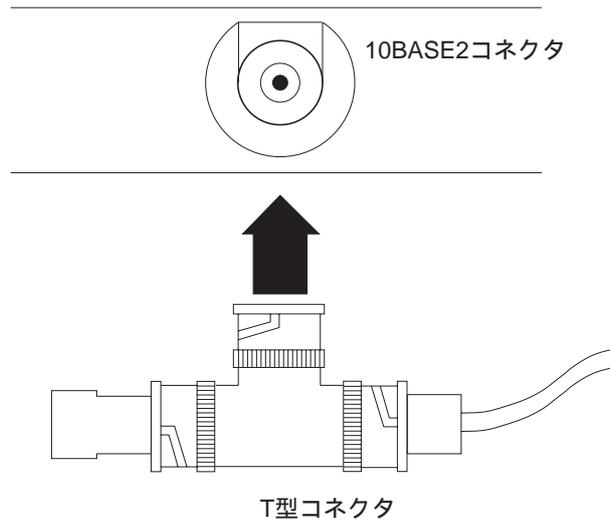
接続先のリピータまたはHUBの電源がONになっているか

LEDが点燈しなければネットワークの使用および以降の動作テストが行なえません。
必ずLEDが点燈した上で次にお進みください。

2-4-2. REX-9881への接続

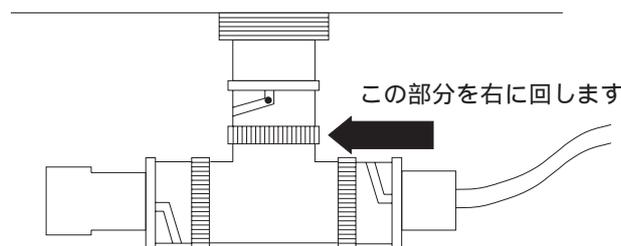
(1).10BASE2コネクタへの接続

10BASE2ケーブルを接続したT型コネクタ部を、ネットワーク・インターフェイス・カードの10BASE2(BNC)コネクタに接続します。



(2).ケーブルの固定

ネットワーク・インターフェイス・カードと接続されているコネクタ部のギザギザの部分をもとに右に回し、10BASE2ケーブルが抜けられないように固定します。



ターミネータについて

ターミネータ(終端抵抗)は、送信データの電気信号の反射によるエラーを防止します。

ターミネータは必ずネットワークの両端に接続してください。

ターミネータが接続されていない場合は、ネットワークが使用できませんのでご注意ください。

接地(アース)用のケーブルが付属したターミネータは、絶対に使用しないでください。

ネットワークボードはアイソレーションされているため接地の必要はありません。

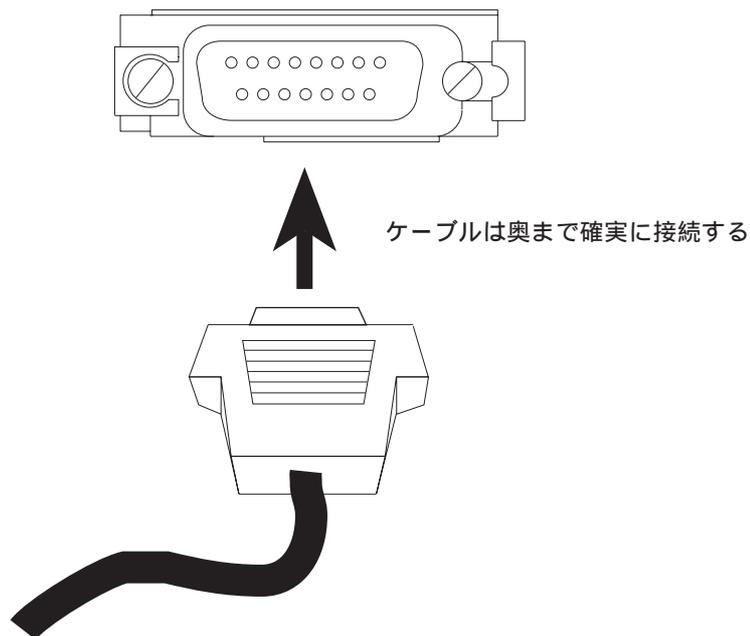
接地されたターミネータを使用した場合、逆に故障の原因となります。

第2章 REX-9880/81/82のインストール

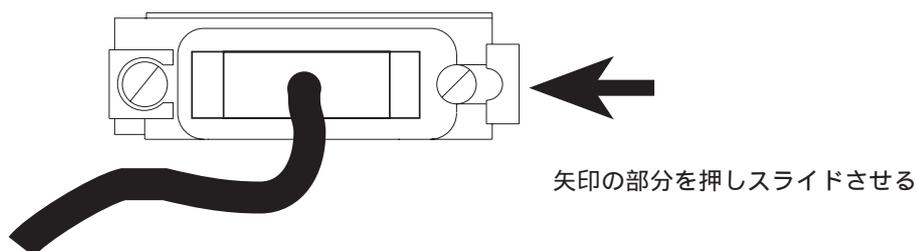
2-4-3. REX-9880/81/82 10BASE5への接続

(1).10BASE5コネクタへの接続

トランシーバケーブルの先端AUIコネクタを、ネットワーク・インターフェイス・カードの10BASE5(AUI)コネクタに接続します。



ラッチ金具をスライドさせてAUIケーブルが抜けないように固定します。(この時、ケーブルが奥まで完全に接続されていないとラッチ金具がスライドしませんので注意してください)



REX-9880の場合、10BASE-T/10BASE5の選択は、ケーブルが接続されたコネクタを自動判別して行ないます。このためネットワークケーブルを同時に両方のコネクタへ接続しないでください。

2-5. ループバックテスト

2-5-1. 割り込みを使用しないループバックテスト

(1).REX-9880/81/82付属のフロッピーに含まれる「NICUT.EXE」プログラムを起動します。

```
A:¥>B: <Enter>
B:¥>CD UTIL<Enter>
B:¥ UTIL>NICUT <Enter>
```

(2).メインメニューの「ネットワーク・インターフェイス・カードの動作確認」を選択します。そして「ループバックテスト」を選択すると下の画面が表示されます。

```
REXLAN Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE)      Version x.xx
                                     ループバックテスト
パソコン本体機種              PC-9801                      カードの設定
ネットワーク・インターフェイス・カード                    ループバックテスト
I/Oベースアドレス              送信間隔(0-60)          0秒
MACアドレス                    送信回数(0-9999)      100回
割り込み

-----
メニューを選択してください。
-----
```

(3).最初に「カードの選択」を選択します。下のカードリストが表示されたら「REX-9880/81/82」を選択します。

```
-----
ネットワーク・インターフェイス・カードを選択してください。
-----
カード名称
REX-9880/81/82
REX-9883
REX-9886/87/88
```

(4).次にI/Oベースアドレスが表示されたらカードに選択したアドレスを選択します。そして割り込み番号は「なし」を選択します

```
-----
割り込み番号を選択してください。
-----
カード名称              割り込み番号
REX-9880/81/82 64D0h 00:80:3D:98:00:01  IRQ3 (INT0) 選択可
                                     IRQ5 (INT1) 選択可
                                     IRQ6 (INT2) 使用済
                                     IRQ12 (INT5) 選択可
                                     なし
```

第2章 REX-9880/81/82のインストール

(5).次に「ループバックテスト」を選択してテストを開始します。

REXLAN Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE)		Versionx.xx	
		ループバックテスト	
パソコン本体機種	PC-9801	TX TimeOut 0000	Rx TimeOut 0000
ネットワーク・インターフェイス・カード	REX-9880/81/82	TX ShortPKT 0000	Rx ShortPKT 0000
I/Oベースアドレス	64D0h	16 Colision 0000	Rx OverFlow 0000
MACアドレス	00:80:3D:98:00:01	BusWrite Er 0000	AlignmentEr 0000
割り込み	なし	CRC Error 0000	DataComp Er 0000
-----		-----	
送信状態	A0	受信状態	80
		送信間隔	0秒
		送信回数	2/100回

93/07/06 15:40:10 00001 a quick brown fox jumps over the lazy dog. 0123456789			
93/07/06 15:40:10:00002 0123456789.A QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG			

送信回数で指定された回数分テストを行うと終了します。

2-5-2. 割り込みを使用するループバックテスト

- (1).再び「カードの選択」を選択して、割り込み番号に「選択可」が表示されている番号を選択します。
- (2).次に「ループバックテスト」を選択して、テストを開始します。

REXLAN Series Network Interface Card Utility (NICUT.EXE)		Versionx.xx	
		ループバックテスト	
パソコン本体機種	PC-9801	TX TimeOut 0000	Rx TimeOut 0000
ネットワーク・インターフェイス・カード	REX-9880/81/82	TX ShortPKT 0000	Rx ShortPKT 0000
I/Oベースアドレス	64D0h	16 Colision 0000	Rx OverFlow 0000
MACアドレス	00:80:3D:98:00:01	BusWrite Er 0000	AlignmentEr 0000
割り込み	IRQ5	CRC Error 0000	DataComp Er 0000
-----		-----	
送信状態	A0	受信状態	80
		送信間隔	0秒
		送信回数	2/100回

93/07/06 15:40:10 00001 a quick brown fox jumps over the lazy dog. 0123456789			
93/07/06 15:40:10:00002 0123456789.A QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG			

以上のテストで正常動作が確認されれば、ハードウェアのインストールは完了です。

そのまま、使用する各ネットワークOSに対応した別冊のインストールガイドに従ってLANドライバ等のインストールを進めてください。

第3章 付録

3-1. NET.CFGに記述する値について

(1).LANドライバ名

REX9880

(2).Link driverセクションのドライバ・オプション

オプション	項目名	設定できる値	デフォルト値
割り込み番号	INT	3, 5, 9, 10, 11, 15	5
I/Oベースアドレス	PORT	64D0,66D0,6CD0,6ED0	64D0
フレームタイプ	FRAME	Ethernet_802.2 Ethernet_802.3 Ethernet_SNAP,Ethernet_II	Ethernet_802.3 (3.11J) Ethernet_802.2 (3.12J/4.1J)

(3).NET.CFGファイルの記述例

カードの設定がI/Oベースアドレス「64D0」で割り込み番号「5」が選択可能な場合の例です。

Netware 3.11J

```
Link driver REX9880
INT      5
PORT     64D0
FRAME    Ethernet_802.3
```

Netware 3.12J/4.1J

```
Link driver REX9880
INT      5
PORT     64D0
FRAME    Ethernet_802.2
Netware DOS Requester
Checksum=0
First Network Drive=F
Short Machine Type=pc98
Signature Level=0
```

TCP/IP

LSLのバージョンによってProtocolセクションの記述が異なります。

LSLのバージョンv1.xxの場合	LSLのバージョンv2.xxの場合
Protocol IP	Protocol IP
Bind #1 REX9880	Bind REX9880
Protocol ARP	Protocol ARP
Bind #1 REX9880	Bind REX9880
Link driver REX9880	Link driver REX9880
INT 5	INT 5
PORT 64D0	PORT 64D0
FRAME Ethernet_II	FRAME Ethernet_II
Protocol IP 0800 Ethernet_II	Protocol IP 0800 Ethernet_II
Protocol ARP 0806 Ethernet_II	Protocol ARP 0806 Ethernet_II

3-2. Protocol.iniに記述する値について

(1).セクション名

REX9880_NIF

(2).ドライバ・オプション

オプション	項目名	設定できる値
ドライバ名	DRIVERNAME	REX9880\$
割り込み番号	INTERRUPT	3, 5, 6, 12
I/Oベースアドレス	IOBASE	0x64D0, 0x66D0, 0x6CD0,0x6ED0

(3).Protocol.iniファイルの記述例

カードの設定がI/Oベースアドレス「64D0」で割り込み番号「5」が選択可能な場合の例です。

```
...  
....  
[ REX9880_NIF ]  
DRIVERNAME = REX9880$  
INTERRUPT = 5  
IOBASE = 0x64D0  
....  
...
```

REX LAN インターフェースカード質問用紙

ユーザ情報記入欄

会社名			
所属			
氏名			
住所	〒		
電話番号		FAX番号	
製品型番	REX-	シリアル番号	
販売店名			

パソコン環境状況記入欄&質問内容

パソコン機種名			
使用OS	Windows3.1(DOS Version)	Windows95	
ネットワークOS	Version		
質問内容			
添付資料:インストール等に関するご質問の場合は、下記のデータが必要です。送付して頂いたデータを チェックしてください。 CONFIG.SYS AUTOEXEC.BAT SYSTEM.INI NET.CFG PROTOCOL.INI デバイスマネージャのシステム概要			

デバイスマネージャのシステム概要(Windows95のみ)

- (1).コントロールパネルのシステムのデバイスマネージャから[印刷(N)...]ボタンを押します。
- (2).レポートの種類に「全てのデバイスとシステムの概要」を選択して[OK]ボタンを押します。

目次

はじめに	1
インターフェースカード取り扱い上の注意	1
ご注意	1
製品に関するお問い合わせ	2
第1章 REX-9880/81/82について	3
1-1. 概要	3
1-2. 対応機種	3
1-3. 付属品	3
1-4. 仕様	4
1-5. I/Oアドレス、割り込み番号の設定について	5
1-6. LANドライバに指定する割り込み番号について	5
1-7. PC-9821シリーズのPCIバス搭載機での注意事項	6
1-8. PC-H98で使用する場合のセットアップについて	6
1-9. 付属のソフトウェアについて	7
1-10. 各部の名称とはたらき	8
1-11. ブロック図	9
第2章 REX-9880/81/82のインストール	10
2-1. I/Oベースアドレスの調査	10
2-2. I/Oアドレスの設定	11
2-3. パソコン本体への取り付け	12
2-4. ケーブルの接続	14
2-4-1. REX-9880への接続	14
2-4-2. REX-9881への接続	15
2-4-3. REX-9880/81/82 10BASE5への接続	16
2-5. ループバックテスト	17
2-5-1. 割り込みを使用しないループバックテスト	17
2-5-2. 割り込みを使用するループバックテスト	18
第3章 付録	19
3-1. NET.CFGに記述する値について	19
3-2. Protocol.iniに記述する値について	20

目次

はじめに	1
ご注意	1
製品に関するお問い合わせ	1
第1章 REX-9880/81/82について	2
1-1. 概要	2
1-2. 対応機種	2
1-3. 付属品	2
1-4. 仕様	3
1-5. I/Oアドレス、割り込み番号の設定について	4
1-6. LANドライバに指定する割り込み番号について	5
1-7. PC-9821シリーズPCIバス搭載機での注意事項	5
1-8. PC-H98で使用する場合のセットアップについて	5
1-9. 付属のソフトウェアについて	6
1-10. 各部の名称とはたらき	7
1-11. ブロック図	8
第2章 REX-9880/81/82のインストール	9
2-1. I/Oベースアドレスの調査	9
2-2. I/Oアドレスの設定	10
2-3. パソコン本体への取り付け	11
2-4. ケーブルの接続	14
2-4-1. REX-9880への接続	14
2-4-2. REX-9881への接続	15
2-4-3. REX-9880/81/82 10BASE5への接続	15
2-5. ループバックテスト	16
2-5-1. 割り込みを使用しないループバックテスト	16
2-5-2. 割り込みを使用するループバックテスト	17
第3章 付録	18
3-1. NET.CFGに記述する値について	18
3-2. Protocol.iniに記述する値について	18